

2023年『資本論』深掘り講座(第10回)ニュース

—第3巻の真価を探る—

前回の講義内容

■ワンポイント

機械の資本主義的利用の原理について学びました。機械は、資本主義のもとでは、労働を軽減するため・労働日を短縮するための手段ではなく、剰余価値を生産するための手段です。

(第1巻第4篇第13章)「機械の生産性」は労働価値法則の観点からするならば、機械生産のコストと機械によって省かれる労働との差によって計られます。[機械価値 $\leq v+m$]しかし資本主義的利用の基準は機械のコストが労働力価値より小さいことが前提になります。[機械価値 $<v$]労働力が機械コストより安ければ機械導入は妨げられません。(テムズ川の女性による船曳労働)さらに資本の利潤競争ではさらに厳しい条件が課せられているのです。[機械価格 $<$ 人件費]により長時間労働と過密労働に転化します。

■利子生み資本の概念

利子生み資本の定式は、 $G-G-W-G'-G'$ です。ここでGは貸付資本として登場します。中間の $G-W-G'$ は、機能資本として自己増殖する価値すなわち労働者を搾取して剰余価値を生産する機能をはたします。貨幣は、ここでは単純商品交換 $W-G-W$ ではたす使用価値・機能(価値尺度、流通手段、蓄蔵貨幣、支払手段、世界貨幣)のほかに平均利潤を生むという使用価値が発生してきます。貨幣資本Gは潜勢的な資本としてこの追加的使用価値により“特殊な商品”に転化します。利子はこの商品の価格であり平均利潤のうち資本の持主に支払わなければならない部分を表す特殊な名称にほかなりません。利子率は自由競争によって確定される以上、利子の「自然率」は存在しません。利子生み資本は、資本機能を前提に最終的に $G-G'$ という形態をとり貨幣が貨幣をうむという物神的形態が最高度化します。

本日の学習 第5篇 利子生み資本論(2) 第23章～

時間割

講義Ⅰ 13:00～14:00 (60分) 講義Ⅱ 14:10～15:10 (60分) 講義Ⅲ 15:20～16:20 (60分) 質疑応答 16:30～16:55 (25分) 片付け終了 16:55～17:00

■終了後の質問感想についてはメールでお願いします。 mitioT@outlook.jp

次回

■第11回講座 11月5日(日) 13:00～17:00 ■「第5篇 利子生み資本(3)」

■エデュカス東京5F会議室 (JR市ヶ谷駅 メトロ麴町駅)

ご案内

第2回特別講座

■10月8日(日) 13時～17時 ■エデュカス東京地下会議室

■テーマ:「脱「搾取・貧困」の『資本論』未来社会論」

■講師 宮川 彰先生 ■受講料 500円 (zoom参加者もお願いします)

「Daskapital」を読む会

■10月28日(土) 13:00～17:00 ■東京駅:八重洲倶楽部第7会議室

■内容 第2巻の序言 ■講師 宮川 彰先生

『資本論』第一巻講座第2回

■本講座 10月15日(日) 開講 13:00～17:00 ■エデュカス東京

■講師 村上 裕先生 ■内容:第1章 第3・4節

以上